

## 2020年における交通死亡事故の発生状況について ～管内の交通死亡事故は民営化以降最少に～

中日本高速道路株式会社が管理する高速道路で2020年(1月1日～12月31日)に発生した交通死亡事故について取りまとめましたので、お知らせします。

- ① 死亡事故件数は21件、死亡者数は22名。2019年と比べて、10件・11名減少しました。(図1参照)
  - ・件数、人数ともに民営化(2005年)以降最少であった昨年からさらに減少しました。
  - ・新型コロナウイルスの感染拡大などの影響により、年間交通量が対前年比88%であったのに対して、死亡事故件数は前年比68%で、交通量の減少以上に死亡事故件数が減少しました。
- ② 死亡事故形態では、対停止車両への追突事故(渋滞や事故などで停止していた車両に追突する事故)や単独事故が半減した一方、対走行車両事故(走行中に他の車両と接触する事故)が大幅に増加しました。また、高速道路上で人がはねられる対人事故があとを絶たない状況です。(図2参照)
- ③ 路線別では、北陸道、名神、中央道などでの死亡事故が減少する一方、東名、小田原厚木道路、圏央道の死亡事故が増加しました。(図3参照)

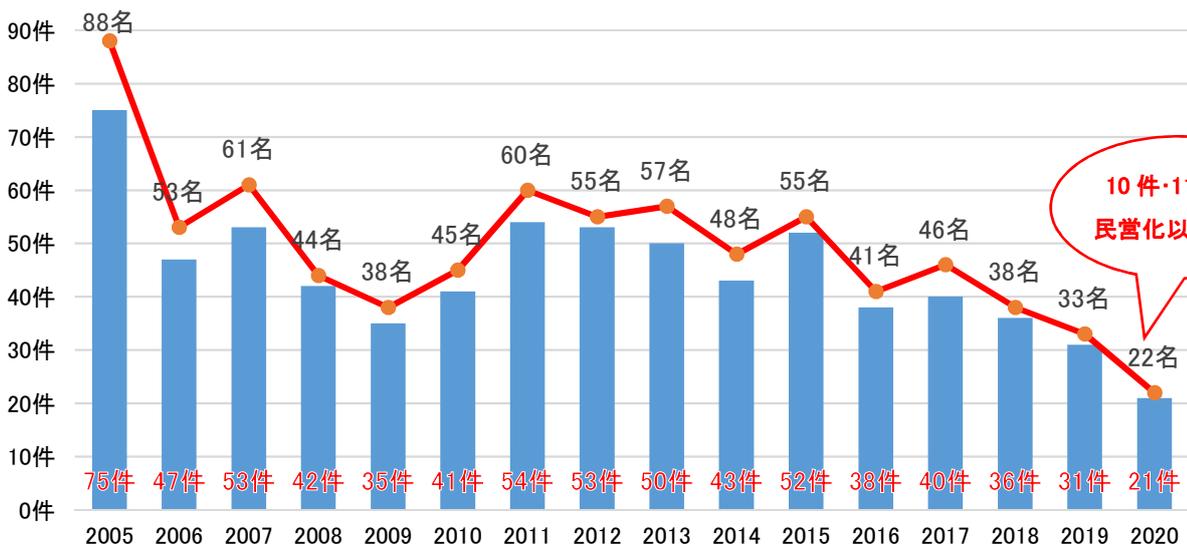
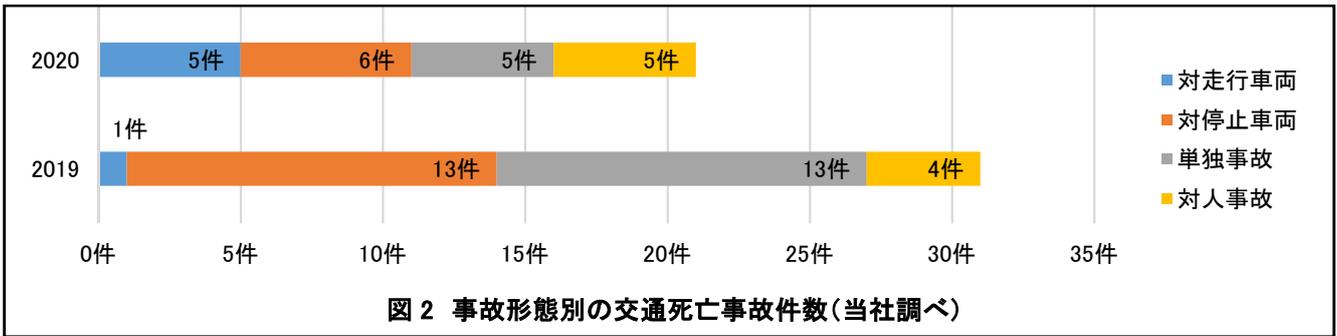
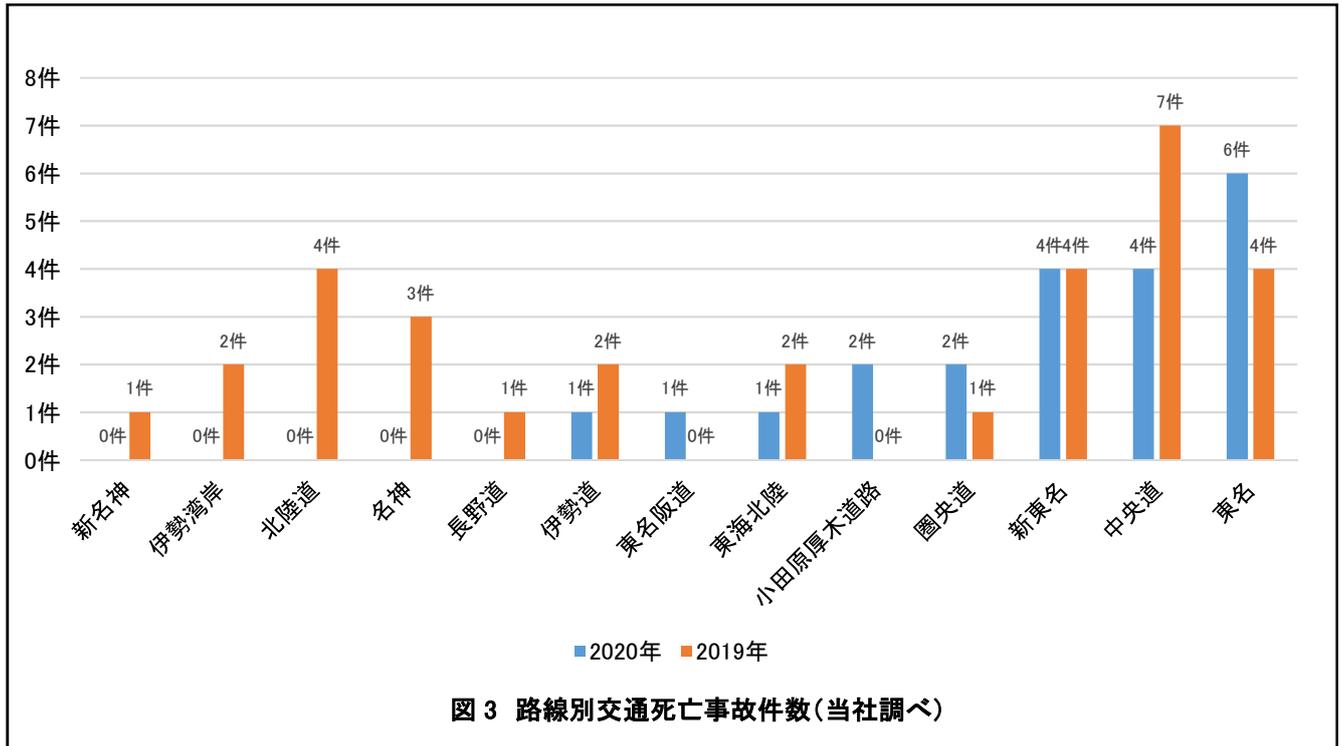


図1 交通死亡事故発生状況の推移(当社調べ)



対停止車両への追突事故(渋滞や事故などで停止していた車両に追突する事故)や単独事故が半減した一方、対走行車両事故(走行中に他の車両と接触する事故)が大幅に増加しました。



東海・北陸方面の路線で死亡事故が減少しているものの、首都圏方面の路線では横ばいまたは増加の傾向にあります。

【参考】当社管内の総事故件数

	事故総数	うち死傷事故	うち死亡事故
2020年	10,166件(76%)	1,053件(90%)	21件(68%)
2019年	13,329件	1,168件	33件

( )内は対前年比

※事故総数は、当社管内で発生した事故の総数。

※死傷事故は、当社管内で発生した死亡事故および負傷事故の件数

●2019年の交通死亡事故を踏まえた2020年の安全啓発の取り組み

1.交通安全キャンペーンの実施

死亡事故に多く見られる事故形態の実態を、管内のサービスエリアやパーキングエリアで感染防止対策をおこないながらお客さまにご説明しました。

	春	夏	秋	冬
実施時期	4月6日(月)から 4月15日(水)まで	7月6日(月)から 7月26日(日)まで	9月21日(月)から 9月30日(水)まで	12月1日(火)から 12月25日(金)まで
重点項目	・ながら運転による事故などの防止 ・対停止車両事故と対人事故の防止 ・自動二輪車が関係する事故の防止	・対停止車両事故と対人事故の防止 ・落下物関係事故の防止 ・自動二輪車が関係する事故の防止	・高速道路上の事故・故障時の対処法の周知 ・ながら運転、あおり運転の防止 ・自動二輪車が関係する事故の防止	・運転マナーの向上・交通ルールの徹底 ・冬の高速道路における事故防止 ・対停止車両事故と対人事故の防止



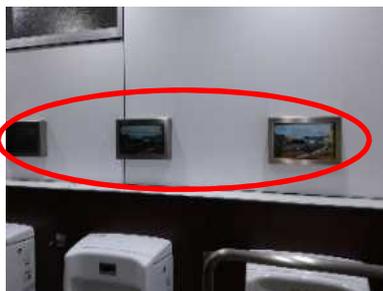
東海北陸道 ひるがの高原 SA での実施状況



中央道 談合坂 SA での実施状況

2.SA・PAのデジタルサイネージやマルチインフォメーションボード(MIB)での安全啓発

死亡事故に多く見られる停止車両への追突事故や単独事故にスポットを当てて安全啓発を実施しました。



男子トイレ前のデジタルサイネージ



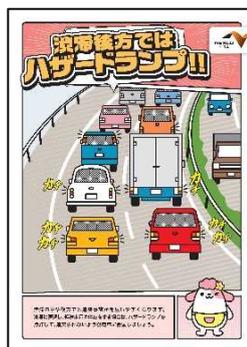
トイレ付近のMIB

掲示



3.SNS(Twitter)を用いて情報を発信

Twitterの特性である拡散効果を期待し、ポップで親しみやすい画調による安全啓発を実施しました。



※SA・PAで配布している「高速道路マナーガイド」より抜粋

#### 4.道路情報板による安全啓発



(イメージ図)



(イメージ図)

#### 5.事故防止対策

##### ① 暫定 2 車線区間の事故防止対策



暫定 2 車線区間の正面衝突防止効果が期待できるワイヤロープの設置



ワイヤロープの設置で反対車線に逸脱せずに停止

##### ② 逆走防止対策

高速道路での逆走は 2 日に 1 回の頻度で発生しています。特に逆走が発生しやすいインターチェンジの本線合流部などで、路面標示、矢印板、ラバーポールを設置を 2018 年度までに完了しました。引き続き、料金所の前後やインターチェンジと一般道路の接続部などでの対策を順次進めています。



大型矢印路面標示



高輝度矢印板



ラバーポール



カラー舗装



進入禁止看板



公募技術  
プレッシャーウォール